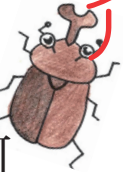


菅平生き物通信

ホームページ <http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp> 電子メール ikimono@sugadaira.tsukuba.ac.jp 電話 0268-74-2002 Fax 0268-74-2016

夏休み研究紹介



探してみよう

自由研究のテーマは決まりましたか? まだ、決まっていなかったか? まだ、決まっていなかったか? という人には昆虫採集をおすすめします。上田は自然豊かな町。

昆虫が好きな環境が沢山あります。飼ってよし! 標本作りもよし! 解剖するもよし! (つぶしが利きます!) (小粥隆弘)

* 採集の後にこんな観察はいかが?

昆虫の口には肢が変化して大あごと小あごがあり、それらは食べるものによって形が変わっています。ここでは、バッタを例に取り上げてみます。バッタには、食べ物を噛んで食べるのに適した「噛む口」が発達しています。丈夫な大あごで植物をかじったり、他の昆虫を捕らえて食べます。その他の昆虫は、どのような口を持っているのでしょうか? 色々な昆虫を探して口の構造をじっくり観察して比べてみませんか?

(藤田麻里・Apsit Thipaksom)

トンボやセミの抜けがら調べは如何ですか? 毎日、どの時期にどの種類がでてくるとか、そこにはどのような種類のセミやトンボがいるとか、そのほかいろいろなることがわかってきます。楽しい研究テーマですよ。しかし、特にトンボの抜け殻を採集するときは、川や沼に落ちないように気をつけてくださいね。

(町田龍一郎)



* クマムシ探し クマムシ類は体長1ミリメートル以下、短い8本足で水中をのそのそ歩く変な奴。身近な所の乾いたコケや地衣類を水に浸すと見つかるかも。

観察には、顕微鏡が必要なので、無い時は、学校の先生などにお願いで見てくださいます。

(清水将太)



トゲクマムシの仲間

湊廣輝君撮影

* 番外編 自由研究は、自分でテーマを考えることが一番面白いよ! 井上ひさし著『イソップ株式会社』という小説には、夏休みの自由研究に悩む小学4年生の少年の姿がいきいきと描かれています。みんなも、いっぱい悩んで良いテーマを見つけてね。

(鈴木亮)

ただの標本作りじゃないよ!

* 小学校の頃の自由研究といえば、僕の場合は、もっぱら昆虫標本の作製でした。ただ虫を採集して標本を作るのではなく、自分の家の庭で採れる50種! とか自分で何かテーマを決めて作ってみると面白くなると思います。

(真下雄太)

* 昆虫標本や植物標本(押し花)は自由研究の定番だけど、作った標本をじっくり観察したことは、あるかな? 虫めがねを使って標本を細かく見たら、新しい発見があるかも! スケッチを描いて記録すると良い研究になりますよ。

(中垣祐貴)

土をカップにいれ、その表面にエサ（生ゴミや食べ物のかけら）を置くと様々なカビが発生して、分解されていく様子が観察できます。庭、畑、森などの土と比較してみましょう。同じ実験を水田や池の水で行うと（餌はゴマ粒や、ご飯粒など少量がよい）ミズカビ、ゾウリムシ、アメーバなどが観察されます。このように分解された物質は植物によりリサイクルされます。掃除係、微生物の働きについて考えてみませんか？

（出川洋介・瀬戸健介）



夏休み

研究特集は

いかがでしょ

たか？

毎年、頭

を悩ましている方も多いのではな

いでしょっか？

信州の夏休みは短いですが、いろいろなチャンネルでみてくださ

Mouthparts of Grasshopper

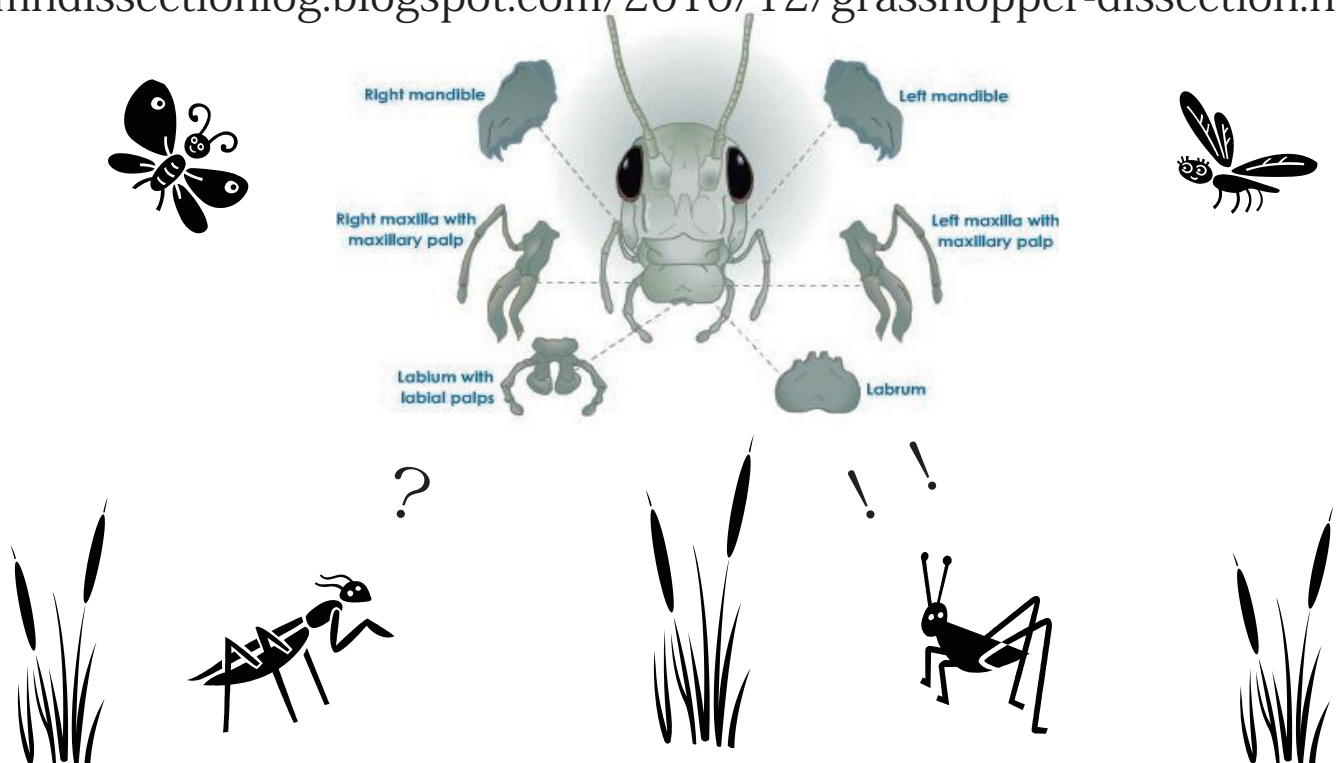
Many insects, including grasshopper, are herbivorous and have mouthparts for biting and chewing vegetation. The mouth parts are attached to the ventral side of the head portion and surround the mouth. Grasshopper mouthpart consists of labrum, mandibles, maxillae, labium, and hypopharynx.

Labrum, or upper lip, helps to hold food during chewing by the mandibles. Mandibles are a pair of structure located on each side of the head and it is responsible for tearing or biting food and then grinding for chewing. Maxillae are a pair of structures lying outside and behind the mandibles. They are used to cut and manipulate the food before enters the mouth. Labium forms the broad median lower lip and consists of labial palps on either side. It helps to manipulate food or chewing with aid of maxillae. Hypopharynx is a membranous tongue-like structure found upper surface of labium and salivary glands discharge saliva through it and assist at swallowing.

（タイからの留学生：Apisit Thipaksom）

- Rebekah's Dissection Log

<http://rmhdissectionlog.blogspot.com/2010/12/grasshopper-dissection.html>



春の自然観察会報告

市民参加植生調査会

6月11日(土)に春の自然観察会が当センターススキ草原で行われました。▼鈴木特任助教が講師を務め、『ワラビを取り続けるとススキ草原の植生にどんな影響がでるのか?』について調査しました。当センターでは、昨年からの草原にワラビを採集する区画と採集しない区画を作りました。そして、ワラビ採集区では昨年からの今年にかけて既に何度もワラビ採りを行って来ました。今回は、それぞれの区画に植生を調べるための1mの調査区を20個ずつ設置し参加者36名は、グループに分かれて約1時間かけて各調査区の中にもどのような植物がいるのかを調べていただきました。調査終了後には、ワラビ採集区でワラビ採りもしました。ワラビの最盛期は過ぎていましたが、袋いっぱいワラビを採った方もいました。調査の結果が出ましたら、ご報告する予定であります。▼小雨が降る中での観察会になりましたが、参加者は「いつも何となく見ている草も、詳しい人の話を聞きながら観察するとなかなか面白い。」とおっしゃっていました。



ツキヌキソウ情報お礼

センター職員一同

生き物通信第9号にて、「探しています!ツキヌキソウ」と題して絶滅危惧種であるツキヌキソウについての情報を募集させていただきました。ところ、地元菅平をはじめ上田市の方々からも数多くの情報が寄せられました。この場をお借りして御礼申し上げます。▼お寄せいただいた情報をみると、ツキヌキソウとはかつては様々な地域・場所において、私たちが考えていた以上にとても身近な存在の植物であったことが想像できます。▼情報を寄せただけでなく、身近に思いついたものが自分達が行ったことで消えていってしまうということ、身近に思いついたものが非常に悲しいことだと感じました。謎多き生態を少しでも解明するために、今回お寄せいただいた情報は、有効に活用し、大切に扱っていききたいと考えています。もちろんこれから随時募集しています。新しい情報を、お待ちいたしております。



職員紹介

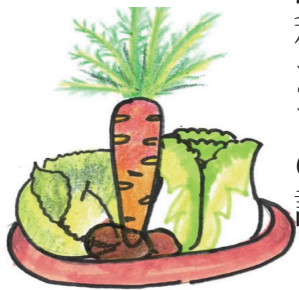
松村 京子
宮崎 由香里



私たちの業務は、研究のため長期滞在されている学生、研究者の方々のための訪れる学生の方々の世話をする事です。

結婚を機に菅平で十数年過ごして参りましたが、自然に囲まれる生活が当たり前すぎて、そこに生息する動植物には、正直、興味がありませんでした。しかし、実験センターで働くようになり、仕事の姿に訪れてくるカモシさんやリスの姿に感動したり、皆さんと自然の話をしたりするうちに自然の素晴らしさを感じることが多くなりました。間もなく菅平も良い季節を迎え、県外からも多くの学生の方々がお出でになります。地産地消を心掛け、菅平のおいしい野菜で、おもてなしが出来たらと願っています。

未来の科学者、研究者の育成に携われることが私たちの誇りです。昼夜なく研究の努力が実る皆が実現することを願っています。



編集後記

通勤の途中に気になるのがオオキンケイギクが増加です。この花は特定外来種に指定されており、外来生物法でも規制されており、植えたり栽培したりすることが禁止されています。花だけを見るとオオキンケイギクに似ており、間違えて栽培されている方もいらっしゃるようですが、葉の形が違いオオキンケイギクは狭倒披針形、オオキンケイギクは羽状深裂に似た形をしています。詳しくは環境省、長野県のホームページをご覧頂くか長野県自然保護課までお問い合わせください。(池田雅子)

<http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/index.html>
<http://www.pref.nagano.jp/kankyo/hogo/gairai/gairai.htm>
<http://www.pref.nagano.jp/kankyo/hogo/gairai/ookinkeigiku.pdf>

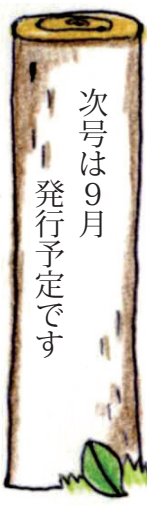


オオキンケイギクの葉と花



写真: 長野県環境部自然保護課自然保護係

本通信の印刷・配布は、東郷堂さんに協力いただいています。



次号は9月発行予定です